

会社概要／株式の状況 (2006年5月31日現在)

会社名	株式会社アイロム
設立年月日	1997年(平成9年)4月9日
資本金	6,281,923千円
本社所在地	〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー8階
連結従業員数	497人
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
会計監査人	中央青山監査法人
グループ会社	株式会社アイロムスタッフ 株式会社アイロムメディック 株式会社アゾーニング アイロム・プロスタッフ株式会社 有限会社アイ・エム・ファンド 株式会社アイロムロハス アイロム製薬株式会社 株式会社アイオロパス 株式会社アイロムエーアイ 株式会社テン・ドラッグ 株式会社シニアライフプラン
発行可能株式総数	3,728,168株
発行済株式の総数	934,542株
株主数	28,318名(2006年3月31日現在)

経営体制 (2006年6月28日現在)

代表取締役 会長兼社長	森 豊隆	
取締役副社長	池本 康二	
取締役副社長	原 寿哉	SMO事業本部本部長兼九州支店担当役員
取締役	松島 正明	経理本部・財務本部担当役員
取締役	福島 陽一	人事本部本部長兼総務本部担当役員
取締役	桑原 秀次	大阪支店担当役員
取締役	秀島 直樹	経営企画本部本部長
取締役	渡邊 一人	メディカルサポート事業本部本部長
取締役	小丹枝直年	営業企画本部本部長
取締役	山下 忍	総務本部本部長
取締役	三宅 鐵宏	
取締役	中川 洋	
常勤監査役	佐野 隆	
常勤監査役	村松 鉄郎	
監査役	平間 和郎	
監査役	加瀬 岩男	
監査役	伊藤 公明	

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日 そのほか必要がある場合には、あらかじめ 公告いたします。
剰余金配当基準日	3月31日 なお中間配当を実施するときの株主確定 日は9月30日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
同事務取扱所 (お問合せ先) (郵便物送付先)	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324(フリーダイヤル)
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞

第9期事業報告書

2005年4月1日 ▶ 2006年3月31日

I'rom

healthcare / concierge / company

I'rom

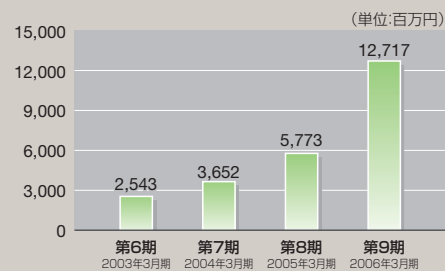
株式会社アイロム
http://www.irom.co.jp



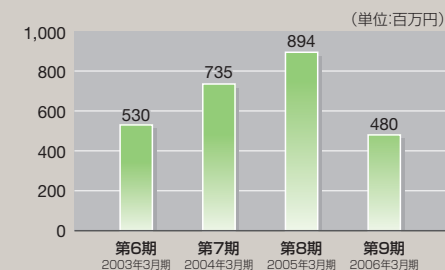
この報告書は、古紙配合率100%再生紙と、環境に
優しい大豆油インキを使用して印刷しています。

株式会社アイロム

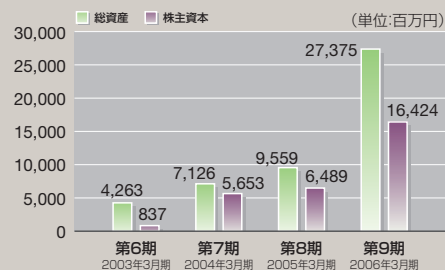
連結売上高



連結当期純利益



総資産/株主資本



地域別提携医療機関分布状況

(2006年3月末現在)



Message メッセージ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

アイロムグループは、1997年の設立当初より、SMOのパイオニアとしてどこよりも早く事業モデルを構築してまいりました。

年々、医療を取り巻く環境が変革を遂げると同時に、人々の健康志向は急速に高まり、食事や健康食品、サプリメント等に注目が集まっています。

そのような背景を受け、アイロムグループは臨床試験の分野のみにとどまらず、利便性を重視したクリニックモールの設置や、有用性に優れた医療機器等の販売、消費者に対し薬の知識を啓蒙する新しいスタイルの薬局の展開等、生活者のニーズを適確に捉えた医療に関する情報・サービスの提供を推進することで、医療や健康に関する知識を深め、人々が自らの健康維持を可能とするより良いライフスタイルの実現を目指しております。

今後も、アイロムグループは、ピアンネートル（在るべき姿で在り続けること）をキーワードに、生活者主体の医療環境作りに貢献する統合医療サポート企業として、幅広くそして新しい視点でサービスを切り拓いてまいります。

代表取締役 森 豊隆

Achievements 2005-2006

2005年 7月	<p>日清オイリオグループ(株)と業務提携 健康食品及びサプリメント等の研究開発から販売までを行い、「食と医の融合事業」の発展を促進することを目的として、業務提携いたしました。</p> <p>小林製薬工業(株)を子会社化 当社の持つ医薬品等に関するノウハウを活かしながら、医薬品の製造販売という新たな分野へ進出することを目的として、子会社化いたしました。 (2006年4月1日付にて、アイロム製薬(株)に商号変更しております。)</p>
8月	<p>株LTTバイオファーマと業務提携 アンチエイジングクリニックのサポートを軸とした抗加齢事業の推進を目的として、業務提携いたしました。</p>
12月	<p>J-GCPLの運営を全面支援しPhase Iに進出 大崎病院 東京ハートセンター内に開催されたPhase I施設「Japan-General Clinical Pharmacology Laboratories (J-GCPL)」の運営の全面支援を開始いたしました。</p>
2006年 2月	<p>株エコスと業務提携 近隣型ショッピングセンターの店舗内または隣接地におけるクリニックモールの開設により「食と医の融合」を図ることを目的として、業務提携いたしました。</p>
3月	<p>株クリエイティブ・ディーと業務提携 優れた薬剤師による充実したサービスを提供し、安心・安全かつ利便性の高い薬局・薬店を運営することを目的として、業務提携いたしました。</p>

Top News トップニュース

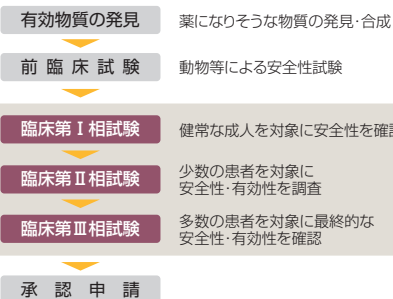
先駆的なQT試験のインフラ整備で、他社に優先して第I相試験を受託。

SMO事業を活発的に展開する当社は、新薬開発において非常に重要な位置付けにある第I相試験のサポート体制を確立するため、大崎病院東京ハートセンターに開設されたJapan-General Clinical Pharmacology Laboratories (J-GCPL) の運営を全面的に支援しています。新施設には、心臓安全性 (QT・QTc) 解析評価対応の12誘導心電計と専用測定室が完備され、開発中の新薬が心臓に副作用を与えるか否かを評価いたします。

心臓安全性評価試験の専用施設を設けたPhase I施設は、日本初となります。

今後全ての新薬開発では心臓安全性評価試験が不可欠と考えられ、当社が他社に先駆けQT試験のインフラ整備を行うことで、優先的に第I相試験を受託いたします。

新薬開発の流れ



Phase I

2005年5月 ICH (日米欧医薬品規制調和国際会議)

E14ガイドライン
非抗不整脈薬におけるQT/QTc間隔の延長とその臨床評価

ステップ4へ進展

米国 2004年～全ての薬剤について心臓安全性に係わる臨床検討データの提出をFDAが制度化

日本 近々QT試験の制度化が必至

Phase I 市場規模

米国 500億円
日本 (制度化後) 200億円

オーダーメイド医療 市場規模

9,800億円 (2010年・推計)
53,600億円 (2020年・推計)
科学技術政策研究所

Business Focus

人々の健康維持と生活環境の向上に貢献する新しいマーケットの創造。

Business Focus

当社は、積極的なM&Aや業務提携により、ヘルスケアの分野全体を対象としたサービスの拡大を進めています。今後とも、生活者のニーズを適確に捉えた医療に関する情報・サービスの提供を推進することで、医療や健康に関する知識を深め、人々の健康維持を支える新たなマーケットを創造してまいります。

ビジネスフォーカス

医薬品の成分や効能に着目した、新しいスタイルの薬局『ファルマルシェ薬局』

現在、アイロムグループは、生活者と医療機関とをつなぐ新しいタイプの薬局「ファルマルシェ薬局」を展開しています。

オーガニック食品や一般医薬品等の販売をはじめ、健康管理を意識したライフスタイルの提案、さらには薬剤師等のスタッフによる病気や医療に関する相談、最新情報の提供を行っています。

ファルマルシェ薬局では、店内の壁面に「効能、成分、1日当たりの価格」を表示した引き出しを設置し、その中に医薬品を収納するという他店にはない独自の販売方法を取り入れました。そうすることで、お客様は自身の症状に合った医薬品を適確かつ容易に見つけることが可能となります。

ファルマルシェ薬局の目指すサービスは、本当によいものをお客様自身で判断することのできる基準を作ることであり、新しいスタイルの薬局として定着させることで、人々の健康とより良い生活に貢献してまいります。

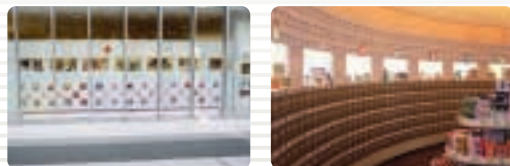
全く新しいコンセプトの薬局チェーン展開

～Concept～

Bien-être [ビアンネートル]

人が、自然が、そして地球上の全てが美しく調和し、在るべき姿で在り続けること

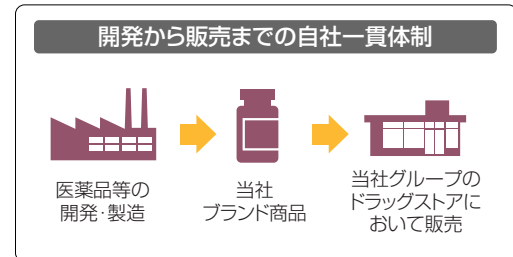
自己による健康管理のサポート
オーガニック製品や薬品の販売



医薬品等の製造分野に進出し、オリジナルブランド商品を製造販売

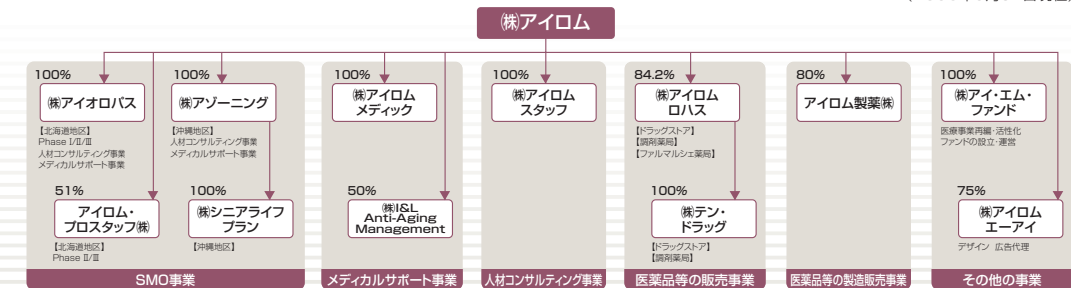
当社は、2005年7月に小林製薬工業(株) (2006年4月1日付にてアイロム製薬(株)に商号変更)を子会社化し、新たに医薬品等の製造販売事業に着手いたしました。2005年4月の薬事法改正に伴い、医薬品の製造受託のマーケットが拡大傾向にあります。

アイロムグループでは、医薬品の開発・製造・営業の受託を行う他、特定機能性食品・健康食品等の製造販売を行い、人々の健康維持と生活環境の向上を迫及するブランドとして確立させてまいります。



統合医療サポート企業としてのアイロムグループ

(2006年5月31日現在)



【連結子会社・関連会社】 12社

● 連結財務諸表 (要約)

連結貸借対照表

(単位: 千円)

科 目	第8期	第9期
	2005年3月31日現在	2006年3月31日現在
資産の部		
流動資産	5,280,686	15,386,564
現金及び預金	1,408,620	6,401,871
受取手形及び売掛金	2,493,184	2,762,861
その他	1,406,963	6,433,856
貸倒引当金	△ 28,082	△ 212,025
固定資産	4,278,732	11,989,104
有形固定資産	2,107,630	6,237,045
建物及び構築物	1,124,784	2,280,795
土地	758,437	2,459,714
その他	224,408	1,496,534
無形固定資産	8,447	1,601,967
投資その他の資産	2,162,653	4,150,091
投資有価証券	1,286,663	2,262,095
繰延税金資産	8,380	108,995
その他	867,609	1,779,110
貸倒引当金	—	△ 110
資産合計	9,559,418	27,375,668
負債の部		
流動負債	2,824,350	8,568,567
支払手形及び買掛金	296,696	1,716,792
短期借入金	800,000	4,665,030
未払法人税等	781,453	565,127
前受金	556,947	—
その他	389,253	1,621,616
固定負債	232,754	2,018,983
負債合計	3,057,105	10,587,551
少数株主持分		
少数株主持分	12,403	363,637
資本の部		
資本金	1,500,321	6,281,923
資本剰余金	2,791,321	7,572,923
利益剰余金	2,193,958	2,552,150
_{その他有価証券評価差額金}	4,309	17,482
資本合計	6,489,910	16,424,480
負債、少数株主持分及び資本合計	9,559,418	27,375,668

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位: 千円)

科 目	第8期	第9期
	2004年4月 1 日から 2005年3月31日まで	2005年4月 1 日から 2006年3月31日まで
売上高	5,773,185	12,717,088
売上原価	2,835,294	8,763,486
売上総利益	2,937,891	3,953,602
販売費及び一般管理費	1,257,300	3,394,499
営業利益	1,680,591	559,103
営業外収益	38,066	95,482
営業外費用	65,240	164,773
経常利益	1,653,417	489,812
特別利益	2,966	480,075
特別損失	7,452	174,456
税金等調整前当期純利益	1,648,931	795,431
法人税、住民税及び事業税	788,092	560,494
法人税等調整額	△ 35,831	△ 310,103
少数株主利益	2,208	64,613
当期純利益	894,462	480,427

連結剰余金計算書

(単位: 千円)

科 目	第8期	第9期
	2004年4月 1 日から 2005年3月31日まで	2005年4月 1 日から 2006年3月31日まで
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	2,791,321	2,791,321
資本剰余金増加高	—	4,781,602
資本剰余金期末残高	2,791,321	7,572,923
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	1,365,441	2,193,958
利益剰余金増加高	894,462	480,427
利益剰余金減少高	65,945	122,235
利益剰余金期末残高	2,193,958	2,552,150

● 個別財務諸表 (要約)

貸借対照表

(単位: 千円)

科 目	第8期	第9期
	2005年3月31日現在	2006年3月31日現在
資産の部		
流動資産	3,935,134	7,406,852
現金及び預金	1,186,889	4,377,524
売掛金	2,255,742	895,221
その他	492,502	2,154,540
貸倒引当金	—	△ 20,433
固定資産	4,217,459	10,448,642
有形固定資産	909,171	1,189,872
建物	375,904	719,120
土地	366,756	366,756
その他	166,509	103,995
無形固定資産	5,437	119,691
投資その他の資産	3,302,851	9,139,078
投資有価証券	1,184,663	1,642,327
関係会社長期貸付金	1,220,000	4,100,000
その他	898,188	3,396,750
資産合計	8,152,594	17,855,495
負債の部		
流動負債	1,602,274	1,487,039
未払法人税等	666,135	353,539
前受金	519,953	244,591
その他	416,184	888,907
固定負債	187,171	236,559
負債合計	1,789,445	1,723,598
資本の部		
資本金	1,500,321	6,281,923
資本剰余金	2,791,321	7,572,923
利益剰余金	2,067,196	2,261,761
_{その他有価証券評価差額金}	4,309	15,286
資本合計	6,363,148	16,131,896
負債・資本合計	8,152,594	17,855,495

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位: 千円)

科 目	第8期	第9期
	2004年4月 1 日から 2005年3月31日まで	2005年4月 1 日から 2006年3月31日まで
売上高	3,332,070	3,144,725
売上原価	921,770	1,539,697
売上総利益	2,410,299	1,605,027
販売費及び一般管理費	968,546	1,056,694
営業利益	1,441,753	548,333
営業外収益	46,503	82,544
営業外費用	28,327	62,948
経常利益	1,459,928	567,930
特別利益	2,966	10,471
特別損失	43,310	—
税引前当期純利益	1,419,585	578,401
_{法人税、住民税及び事業税}	670,652	333,647
_{法人税等調整額}	△ 14,070	△ 72,046
当期純利益	763,003	316,800
前期繰越利益	1,299,442	1,940,211
当期末処分利益	2,062,446	2,257,011

利益処分

(単位: 千円)

科 目	第8期	第9期
	株主総会承認日 2005年6月24日	株主総会承認日 2006年6月26日
当期末処分利益	2,062,446	2,257,011
利益処分額	122,235	118,454
_{配当金}	83,235	93,454
_{役員賞与金 (内監査役賞与金)}	39,000 (1,000)	25,000 (500)
次期繰越利益	1,940,211	2,138,557